大分都心南北軸トータルデザイン 設計プロポーザル

所在地：　大分市
主催者：　大分市／(株)日本設計
期間：　　2010年
対象区域：大分都心南北軸
結果：　　次席者

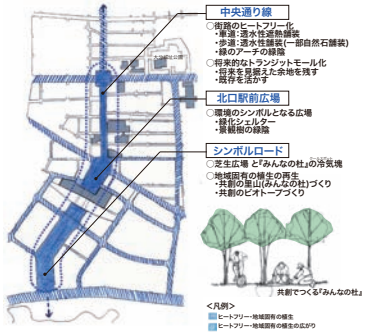
JR線で分断された大分都心南北市街地の回遊性の向上と、県都の顔に相応しい風格と調和のある南北軸のトータルデザインに向けた設計プロポーザルである。

駅北の既存商店街を含めた幅員100mと、駅南の新たな100m道路を都心南北軸と捉え、大分駅を貫く100m×1kmの「共創まちづくり」を提案した。

緑が少ない、ヒートアイランド現象、高齢化の進展、中心市街地の衰退など、多様な課題を抱える大分都心の現状を踏まえ、『みんなでつくる“100m×1km”のグリーン・コモンズ』をキャッチフレーズに、“大分都心の再生”と“大分らしさの創出”を牽引するリーディング・プロジェクトを提示している。

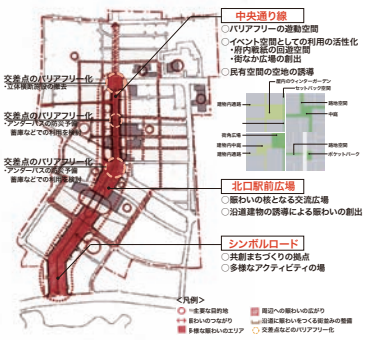
整備コンセプト

①環境のシンボル軸



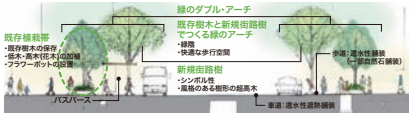
②景観のシンボル軸

③賑わいのシンボル軸

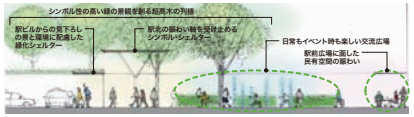
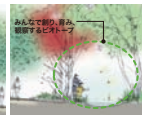


整備構想図

市道中央通り線(駅北)



北口駅前広場



シンボルロード(駅南)